

[ 表面 ] 試験が始まる前にこの頁に書いてあることをよく読んでください。  
(裏面は試験問題になっているので、指示があるまで見てはいけません)

## 平成26年度 下期 技能試験 [試験時間 40分]

### << 注意事項 >>

1. 電線接続箇所のテープ巻きは省略し、作品は保護板（板紙）に取り付けられないものとします。
2. ケーブル及び絶縁電線の被覆のはぎ取り方法は、直角むき又は鉛筆むきのどちらでもよいものとします。
3. 電源側電線及び施工省略部分へ至る電線の端末は、切断したままとします。
4. 監督員の指示に従い受験番号札に受験番号及び氏名を記入し、試験終了後、作品にしっかりと取り付けてください。取り付け位置は、どこでも結構です。
5. 試験終了後は、速やかに作業をやめ、工具をしまってください。試験終了後も作業を続けている場合は、失格となります。

### << 支給材料等の確認 >>

試験開始前に監督員が指示しますので、指示に従って与えられた材料等を下記の材料表と必ず照合し、材料の不良や不足等があれば監督員に申し出てください。

ただし、監督員の指示があるまで照合はしないでください。

材 料		
1.	600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形（シース青色）、2.0mm、2心、長さ約 250mm	1本
2.	600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形、1.6mm、2心、長さ約 850mm	1本
3.	600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形、1.6mm、3心、長さ約 1050mm	1本
4.	バインド線、0.9mm、長さ約 250mm	1本
5.	露出形コンセント（カバーなし）	1個
6.	引掛シーリング（ボディ（角形）のみ）	1個
7.	埋込連用タンブラスイッチ（3路用）	2個
8.	埋込連用取付枠	2枚
9.	合成樹脂管（防護管）（VE14）、長さ約 50mm	1本
10.	リングスリーブ（小）	4個
11.	差込形コネクタ（2本用）	2個
12.	差込形コネクタ（3本用）	2個
予 備 品（減点なしで使用できます）		
1.	端子ねじ 1個	1袋
2.	リングスリーブ（小） 2個	
材 料 以 外		
1.	受験番号札	1枚
2.	ビニル袋	1枚

### << 試験中の材料等支給 >>

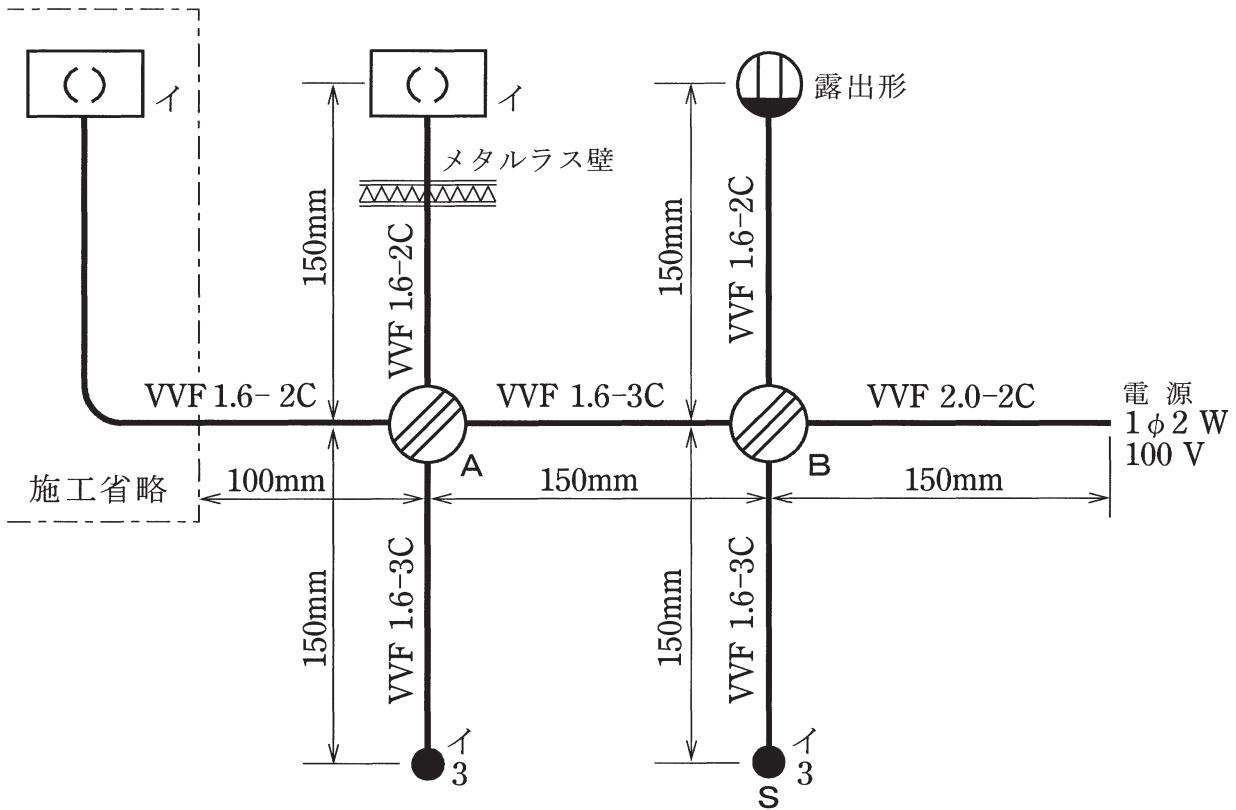
露出形コンセント用端子ねじ、リングスリーブ及び差込形コネクタは、作業のやり直し等により不足が生じた場合、申し出（挙手をする）があれば追加支給します。なお、追加支給しても減点の対象とはなりません。

ただし、その他の材料（電線類、器具等）は追加支給をしませんので、注意してください。

## 技能試験問題 [試験時間 40分]

図に示す低圧屋内配線工事を与えられた材料を使用し、〈 施工条件 〉に従って完成させなさい。  
 ただし、----- で示した部分は施工を省略する。

なお、VVF用ジョイントボックス及びスイッチボックスは支給していないので、その取り付けは省略するものとする。



注：図記号は、原則として JIS C 0303:2000 に準拠している。

また、作業に直接関係のない部分等は省略又は簡略化してある。

## ＜ 施工条件 ＞

1. 配線及び器具の配置は、図に従って行うこと。
2. 3路スイッチの配線方法は、次によること。  
3路スイッチの記号「0」の端子には電源側又は負荷側の電線を結線し、記号「1」と「3」の端子にはスイッチ相互間の電線を結線する。
3. 電線の色別（絶縁被覆の色）は、次によること。
  - ①電源からの接地側電線は、すべて白色を使用する。
  - ②電源から3路スイッチ S 及び露出形コンセントまでの非接地側電線は、すべて黒色を使用する。
  - ③次の器具の端子には、白色の電線を結線する。
    - ・露出形コンセントの接地側極端子（Wと表示）
    - ・引掛シーリングの接地側極端子（接地側と表示）
4. VVF用ジョイントボックス部分を経由する電線は、その部分ですべて接続箇所を設け、接続方法は、次によること。
  - ①A部分の接続箇所は、差込形コネクタによる接続とする。
  - ②B部分の接続箇所は、リングスリーブによる終端接続とする。
5. メタルラス壁貫通部分には、防護措置（防護管の支持を含む）を施すこと。  
なお、防護管の支持にはバインド線を使用すること。
6. 露出形コンセント及び引掛シーリングは、台座のケーブル引込口を欠かずに、ケーブルを下部（裏側）から挿入して使用すること。  
なお、露出形コンセントへの結線は、ケーブルを挿入した部分に近い端子に行うこと。